



ICT活用場面

小学6年 国語
「今、私は、ぼくは」
(全6時間扱い)

準備するもの

Windowsタブレット Googleスライド

インターネットの利用

有

ICT活用のメリット

(お互いの表現の仕方を参考にできる)

- ・スピーチする際の補助資料として、聞き手に提示することにより、分かりやすく飽きさせないスピーチになる。
- ・作成したスライドを共有ドライブに保存することによって、作成したお互いのスライドを確認することができるため、他を参考にしながら作成できる。
- ・紙とは違い、すぐに加除訂正ができる。
- ・書くことが苦手でも、失敗を心配せずに発表原稿を打ち込める。

授業の流れ(5/6時)

本時のねらい

作成した資料を活用してリハーサルを行い、スピーチするときのポイントを確認することができる。

主な学習活動

- ①本時のめあてを確認する。
「ポイントを意識してリハーサルをしよう」
- ②スピーチするときのポイントを考える。
- ③スライドを見直し付け足しをする。
- ④スピーチ見本動画を視聴する。
- ⑤ペアでリハーサルを試みる。
- ⑥スライドの手直しをする。
- ⑦本時の振り返りをする。

タブレット活用場面

作成した何人かのスライドをデジタル黒板に映し出し参考にさせる。

スライドをめくりながらスピーチリハをさせお互いにアドバイスさせる。

児童・生徒の声や、教師のふりかえり

紙面を利用して補助資料を作成させるより、タブレットを使うだけで、児童の集中力が増しているように感じます。参考にさせたい作品をすぐに示せるので効率的です。